

## まち・ひと・しごと創生寄附活用事業の効果検証について（令和４年度）

資料１－３

企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）は、国が認定した地方公共団体の地方創生に関する取組に対して企業が寄附を行った場合に、寄附額の６割を法人関係税から税額控除する仕組みです。損金算入による通常の寄附の軽減効果（寄附額の約３割）を含め、寄附額の最大約９割の軽減効果があります。

本市では、令和２年３月３１日に国から地域再生計画の認定を受け、まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けられた事業において企業版ふるさと納税を活用することができ、令和４年度は２企業から合計５００万円の寄附をいただき、２事業に活用しました。

### １．寄附対象事業の状況

（単位：円）

地域再生計画における事業への位置づけ	事業名	事業費 (令和４年度)	寄附金 受入金額（円） (令和４年度)	事業概要	事業の効果
子育て世代に選ばれるまちづくり	王越宿泊型野外活動施設「交流の里 おうごし」の運営事業	4,735,414	3,000,000	王越宿泊型野外活動施設「交流の里 おうごし」は、主に青少年を対象とした宿泊型野外活動施設であるとともに、にぎわいづくりや地域交流の場として開設され、当該事業により施設の機能性および利便性を向上させ、主な利用者である青少年や各種団体の利用増を図るとともに、王越町の更なる魅力発信及び活性化に繋げる。	王越宿泊型野外活動施設「交流の里 おうごし」は、主に青少年を対象とした宿泊型野外活動施設であるとともに、にぎわいづくりや地域交流の場として開設された。 当該事業により施設の機能性および利便性を向上させ、主な利用者である青少年や各種団体の利用増を図るとともに、王越町の更なる魅力発信及び活性化に繋げている。 現在、地域住民が主体となって「王越町共に生きるまちづくり推進協議会」による季節に応じたイベント（例：自然観察会、みかん狩り、ピザ窯を使った体験室）等の活動や施設内の清掃等を含めた施設の管理業務委託、ひいては将来的な指定管理を担うことによる自立化した運営の確立を目指すとともに、長期間に渡って活躍できるような拠点となるよう整備してきた。 今般、交流の里おうごしの１階廊下部分および図書室の一部分のシロアリ駆除・修繕のほか交流の里おうごしの運営費に企業版ふるさと納税の寄附金を充当することにより利用者増を図り、持続可能な持続可能な事業運営を目指している。
安心で暮らしやすい、持続可能なまちづくり事業	ビジネスサポートセンター事業	31,221,807	2,000,000	本市の地域企業の稼ぐ力（付加価値）を向上させ、地域経済や課題解決を担うプレーヤーを増やすため、地域の支援力を強化するとともに、地域外の人材スキルを企業経営に導入する仕掛けづくり、さらに創業を促進させるための機会創出や、地域内への創業誘導施策の実施等、様々な施策を一体的に展開する。【再掲】	令和３年２月末にセンターを開設し、プレオープン期間（計１０日間）を含め、令和４年度末までに、799件の相談に対応した。相談件数は順調に増加しており、メディアやSNSによる認知度の向上、良い印象を受けた相談者からの口コミ、その他PR活動の成果と考えられる。 相談では、丁寧なヒアリングによって事業者の課題把握に務めた。継続的な相談利用により、事業者の売上向上に向けた戦略策定や販路の実行を伴走支援していく。 開設３年目は創業にまで至る支援こそできなかったものの、引き続きセンターの周知や成果事例の発信に努め、創業者や未利用事業者等の利用を促すとともに、他の支援機関との連携推進や、地域での創業実現・事業継続に向けた取り組みを行っていく。 関連事業として空き店舗情報サイトも開設しており、Bizとも連携しながら、市内での創業につながる支援を行っていく。【再掲】
合計	-	35,957,221	5,000,000	-	-

### ２．今後の方針

坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議等での効果検証を踏まえ、今後もまち・ひと・しごと創生寄附活用事業の一層の活用促進を図り、持続可能な坂出の創生を推進していく。